

中期経営計画における経営目標・経営指標の進捗状況

法人名等		目標の内容・実績			
【法人名】 公益財団法人 埼玉県産業文化センター	目標	施設利用率 【令和3年度】 ・大ホール 92%以上 ・小ホール 90%以上 ・国際会議室 82%以上 ・展示場 68%以上 ・会議室 87%以上	公益目的事業数等 【令和3年度】 ・文化振興事業 10事業以上 ・産業振興事業 6事業以上 ・社会貢献事業 8事業以上 ・その他事業 3事業以上 ・日本フィル平均入場者 2,100人以上	施設利用者満足度 【令和元年度～令和5年度】 前期、後期とも90%以上 *有効回答中「大変よい」と「よい」の占める割合	施設内における事故件数 【令和元年度～令和5年度】 事故発生件数 0件
	各年度の実績	【令和元年度実績】 ・大ホール 85.6% ・小ホール 86.0% ・国際会議室 79.5% ・展示場 66.0% ・会議室 83.1% 【令和2年度実績】 ・大ホール 20.3% ・小ホール 22.8% ・国際会議室 24.3% ・展示場 32.0% ・会議室 52.7% 【令和3年度実績】 ・大ホール 44.8% ・小ホール 32.2% ・国際会議室 40.2% ・展示場 37.7% ・会議室 61.2%	【令和元年度実績】 ・文化振興事業 13事業 ・産業振興事業 11事業 ・社会貢献事業 12事業 ・その他事業 5事業 ・日本フィル平均入場者 2,132人 【令和2年度実績】 ・文化振興事業 6事業 ・産業振興事業 9事業 ・社会貢献事業 2事業 ・その他事業 6事業 ・日本フィル平均入場者 633人 【令和3年度実績】 ・文化振興事業 9事業 ・産業振興事業 9事業 ・社会貢献事業 5事業 ・その他事業 7事業 ・日本フィル平均入場者 890人	【令和元年度実績】 前期 98.3% 後期 94.7% 【令和2年度実績】 前期 100% 後期 97.7% 【令和3年度実績】 前期 100% 後期 -	【令和元年度実績】 事故発生件数 0件 【令和2年度実績】 事故発生件数 0件 【令和3年度実績】 事故発生件数 0件
	法人による自己評価	令和元年度末から続く新型コロナウイルス感染症拡大の影響や令和3年7月から大規模改修工事のためホール棟休館により、利用率を達成することができなかった。 引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を徹底し、利用者が安心・安全に利用できる施設運営に取り組んでまいりたい。	引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、開催中止となった事業があり、文化振興事業、産業振興事業は目的事業数を達成することができなかったが、感染状況や社会情勢を勘案しながら事業内容の組換え等を行い、総事業数は達成することができた。 また、文化振興事業の中核である「日本フィルさいたま定期」の平均入場者数はソニックシティ大ホール開催の第125回・126回は定員数を1/2(1,211席)に制限したため、目標を達成できなかった。 今後の公益目的事業についても、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、県民の皆様が安心して参加できる質の高い文化・産業・国際交流・社会貢献等の事業を実施してまいりたい。	“すべてはお客様のために”を経営理念として利用者サービスの向上に努め、年2回実施している施設利用者へのアンケート調査では、上期100%、下期は大規模改修工事のため実施はなかったが、非常に高い満足度を得ることができた。 コロナ禍においても、ネットシステムによる施設予約やチケット販売を活用し、今後もお客様のニーズに対応した質の高いサービスの提供に努めてまいりたい。	設備の更新や的確な修繕、令和3年7月よりホール棟の大規模改修工事が始まりホール棟の物品輸送保管などを行った。また、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した安全の確保により、利用者や来場者が安心して快適に利用できる施設の運営に努め、大きな事故の発生は起こっていない。 今後も更なる安全の確保に努めてまいりたい。